

---

## 【 新入所員紹介 】

中国語学科

すずき けいか  
鈴木 慶夏 教授

専門は現代中国語文法論です。院生時代は統語論が好きで、樹形図模様のシーツや壁紙がほしいと思っていました。ただ、博士論文で、当時「中国語文法の例外」「修辞や文体の問題」と言われていた、文法上ききわけの悪い現象をあつかったせいか、その後は、語用論や談話文法に興味が移っていきました。最近は、教育上の必要から、教育文法や文法習得に関心が向かい、糸の切れた凧になりかけているかもしれません。この先どうするか、模索がつづくと思います。

ところで、97年に北京留学中、昨年度退職された松村先生に国際学会でお会いしたので、帰国後博士課程に進学したいと考えていた私は、いま勉強しておくべきことをアドバイスしてほしいとお願いしたことがあります。松村先生は、「今度、僕の学生が北京に留学するので、部屋を見せてほしいから、君がもっていない本を教えてあげよう。」と言って、翌日すんなりと女子寮に入っただけでした。すすめられたのは形式意味論の本で、この分野のことを学ぶ貴重な機会になりました。21年後のいま、この原稿を書いているのも、何かの縁かもしれません。